

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1235	単位数	2
担当者名	伊藤 昭男	開講セメスター	第6セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	F,H	実務経験	無
ナンバリング	LSe603	DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

●授業のねらい

豊かな地域づくりを進めていくための一環として、「観光まちづくり」を理解し、実践していくための「まちの見方・調べ方・考え方」を習得することがねらいである。

●到達目標

修得した知識を基に、地域観光振興において自ら課題を発見し、解決する能力を身につけることができます。

●授業内容

- 1週目 イントロダクション（基本方針、講義の進め方、小論文テスト、英文翻訳課題など）
- 2週目 観光まちづくりのビジョンを描く（ビジョンの意義と実現に向けた検証、ビジョンを描く単位を考える）
- 3週目 観光まちづくりのビジョンを描く（ビジョンを描く過程に参画する主体を考える、地域が置かれた環境の多面的分析を通して、地域の魅力と課題を見出す）
- 4週目 観光まちづくりのビジョンを描く（地域の将来像と端的に表現するコンセプトを考える、目標を多面的に考える）
- 5週目 観光まちづくりのビジョンを描く（将来像の実現に必要な戦略と施策を考え整理する、将来像の実現に必要な推進体制について考える）
- 6週目 地域資源を観光まちづくりにつなげ、魅力をつくる（地域資源と観光まちづくりの動向、地域資源を顕在化する）
- 7週目 地域資源を観光まちづくりにつなげ、魅力をつくる（地域資源を共有し伝達する、地域資源の保全と活用、そして洗練）
- 8週目 多様な主体とつながる（主体間の関係性構築に向けて、多様な主体と関係性を構築する）
- 9週目 多様な主体とつながる（関係性構築のさらなる深化と発展）
- 10週目 災害に備える（観光まちづくりで災害への備えを考える、地域の災害に関する基本的な情報を把握・分析する）
- 11週目 災害に備える（災害に備える観光まちづくりを考える）
- 12週目 観光まちづくりにおける情報戦略と情報発信（「情報」の性質と情報発信）
- 13週目 観光まちづくりにおける情報戦略と情報発信（カスタマージャーニーに合わせた情報発信）
- 14週目 観光まちづくりにおける情報戦略と情報発信（情報媒体・情報種別ごとの特性）、英文翻訳課題の提出。
- 15週目 観光まちづくりにおける情報戦略と情報発信（情報戦略・情報発信をするための体制づくり）、小論文テストを実施する。
- 16週目 課題小論文および課題英文翻訳についての講評。ただし、やむを得ず15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を実施する。

●準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習：講義予定に沿って事前にテキストを予習しておくこと（90分程度）
- 復習：講義を振り返り、要点を復習・整理しておくことと、自分自身の考えをノートにまとめておくこと（30分程度）。

●成績評価の方法・基準

小論文テストの結果と、英文翻訳課題の提出&内容を総合的に判断して評価する。

●履修上の留意点

成績評価は原則10週以上授業に出席した学生を対象とする。
講義に関する連絡事項はLMS上で行うのでその都度確認すること。

●課題に対するフィードバックの方法

小論文テストの結果と、英文翻訳課題の提出&内容についてそれぞれ講評する。

●テキスト

國學院大学地域マネジメント研究センター（編）『「観光まちづくり」のための地域の見方・調べ方・考え方』（朝倉書店）2970円
本テキストは、「観光ゼミナール ~ 」で共通に使用します。

●参考書

伊藤昭男『観光ビジネス・エコノミクス概論』（批評社）2420円

●更新日付

2024/02/22 02:29